

# 工業用水道事業

## 1. 事業の概要

### 《旧工業用水道事業（旧1期工水）》

本市の工業用水道は、昭和26年3月に日量10,000m<sup>3</sup>の認可を受け、3ヶ年計画で工業用水道施設の建設に着手(事業費：40,000千円)し、昭和29年4月から大竹紙業(株)(現：日本製紙(株))に供給を開始したことに始まります。(それまでの工業用水の供給は上水道施設から行われていました。)

昭和31年には広島県が洪水調節と工業用水の確保を目的とした多目的ダムである小瀬川ダムを小瀬川上流に築造着手し、昭和39年6月に完成をみました。

このダムの建設に要した広島県負担額約8億8,446万円(総事業費：約17億6,892万円)のうち、本市は2億6,357万円を負担し、日量38,400m<sup>3</sup>(三井東圧化学工業(株)に日量24,000m<sup>3</sup>、日本紙業(株)(現：日本製紙(株))に日量14,400m<sup>3</sup>)の水利権を確保するとともに昭和36年から4ヶ年計画で工業用水道拡張事業を実施(総事業費：約5億8,702万円)し、昭和39年10月に完成、全面給水を開始しました。この事業により、工業用水道施設と上水道施設を完全に分離しました。

昭和46年には御園地区の湧水(地下水)日量1,000m<sup>3</sup>/日確保し、本市の衛生センター(現：環境整備課)に供給を開始しました。

昭和61年3月に、三井東圧化学工業(株)が本市から撤退するという事態もありましたが、現在は日本製紙(株)大竹工場へ日量14,400m<sup>3</sup>、日本製紙(株)大竹北工場へ日量12,000m<sup>3</sup>、(株)ダイセルへ日量12,000m<sup>3</sup>、中国塗料(株)へ日量2,000m<sup>3</sup>、大竹明新化学(株)へ日量1,200m<sup>3</sup>、戸田工業(株)へ日量4,000m<sup>3</sup>、環境整備課へ日量1,000m<sup>3</sup>、合計7ヶ所に対し、日量46,600m<sup>3</sup>の給水契約を交わしており、未契約分は日量2,800m<sup>3</sup>となっています。

### 《旧第2期工業用水道事業（旧2期工水）》

平成3年3月に建設省が洪水調節と利水(都市用水)の確保を目的とした多目的ダムである弥栄ダムが完成し、広島県が日量30,000m<sup>3</sup>のダム使用権を取得しました。

その後、広島県施行の大竹港東栄地区港湾整備事業に伴い造成される埋立工業用地に立地する企業に対して工業用水を安定給水するため、平成6年1月に広島県が取得していましたがダム使用権を本市が承継する契約を締結するとともに整備事業に着手し、平成16年3月に施設整備を完了しました。

平成16年度から(株)ダイセルへ日量8,000m<sup>3</sup>を供給し、平成19年度に契約水量を日量16,000m<sup>3</sup>に変更しています。

平成20年3月には、日本大昭和板紙(株)と日量4,000m<sup>3</sup>の給水契約を交わしましたが、平成25年3月末で契約が満了したため、平成25年度以降の契約水量は、(株)ダイセルへの日量16,000m<sup>3</sup>で、未契約分は日量14,000m<sup>3</sup>となっています。

※平成23年4月1日に本市の工業用水道事業を統合し、水の相互融通による安定給水の確保と施設の有効利用を図っています。

## 2. 業 務

### (1) 給水先数

別種別	年度		比較	
	平成28年度	平成27年度	増減	比率
工業用水道	7カ所	7カ所	0	100.0%

### (2) 年間配水量及び有収水量

別種別	年度		比較	
	平成28年度	平成27年度	増減	比率
配水量	m <sup>3</sup> 10,617,616	m <sup>3</sup> 10,571,464	m <sup>3</sup> 46,152	% 100.4
1日平均配水量	29,089	28,884	205	100.7
1日最大配水量	H28. 6.23 43,400	H27. 6.19 39,410	3,990	110.1
有収水量	9,588,452	9,649,194	△60,742	99.4
1日平均有収水量	26,270	26,364	△94	99.6
有収率	90.3%	91.3%	△1.0%	—

### (3) 年間給水先別有収水量

別給水先別	年度		比較			
	平成28年度	平成27年度	増減	比率		
	有収水量	構成比	有収水量	構成比	増減	比率
	m <sup>3</sup>	%	m <sup>3</sup>	%	m <sup>3</sup>	%
日本製紙(株) 大竹工場	460,385	4.8	437,524	4.5	22,861	105.2
日本製紙(株) 大竹北工場	1,010,060	10.5	1,733,350	18.0	△723,290	58.3
(株)ダイセル	6,969,152	72.7	6,335,251	65.6	633,901	110.0
中国塗料(株) 大竹明新化学(株)	866,740	9.0	866,990	9.0	△250	100.0
戸田工業(株)	273,650	2.9	266,660	2.8	6,990	102.6
環境整備課	8,465	0.1	9,419	0.1	△954	89.9
合計	9,588,452	100.0	9,649,194	100.0	△60,742	99.4

(4) 給水実績表

会 社 名	大日本製紙工場	大日本製紙工場	大日本北製紙工場	(株)ダイセル	大竹明新塗料(株)	戸田工業(株)	環境整備課	臨時給水	合 計
契約水量(m <sup>3</sup> /日)	14,400	12,000	28,000	3,200	4,000	1,000	—	—	62,600
平成28年度	年間給水量 460,385 1日平均給水量 1,261	年間給水量 1,010,060 1日平均給水量 2,767	年間給水量 6,969,152 1日平均給水量 19,094	年間給水量 866,740 1日平均給水量 2,375	年間給水量 273,650 1日平均給水量 750	年間給水量 8,465 1日平均給水量 23	—	—	9,588,452
平成27年度	年間給水量 437,524 1日平均給水量 1,195	年間給水量 1,733,350 1日平均給水量 4,736	年間給水量 6,335,251 1日平均給水量 17,309	年間給水量 866,990 1日平均給水量 2,369	年間給水量 266,660 1日平均給水量 729	年間給水量 9,419 1日平均給水量 26	—	—	9,649,194
平成26年度	年間給水量 319,883 1日平均給水量 876	年間給水量 2,836,930 1日平均給水量 7,772	年間給水量 5,379,422 1日平均給水量 14,738	年間給水量 838,610 1日平均給水量 2,298	年間給水量 274,320 1日平均給水量 752	年間給水量 10,187 1日平均給水量 28	—	—	9,659,352
平成25年度	年間給水量 463,328 1日平均給水量 1,269	年間給水量 2,714,570 1日平均給水量 7,437	年間給水量 5,597,895 1日平均給水量 15,337	年間給水量 783,220 1日平均給水量 2,146	年間給水量 272,600 1日平均給水量 747	年間給水量 41,160 1日平均給水量 113	—	—	9,872,773
平成24年度	年間給水量 1,846,790 1日平均給水量 5,060	年間給水量 2,637,450 1日平均給水量 7,226	年間給水量 5,517,729 1日平均給水量 15,117	年間給水量 749,120 1日平均給水量 2,053	年間給水量 261,430 1日平均給水量 716	年間給水量 31,124 1日平均給水量 85	—	—	11,043,643
平成23年度	年間給水量 5,006,119 1日平均給水量 13,678	年間給水量 4,082,610 1日平均給水量 11,154	年間給水量 6,091,415 1日平均給水量 16,643	年間給水量 850,960 1日平均給水量 2,325	年間給水量 285,940 1日平均給水量 781	年間給水量 30,978 1日平均給水量 85	—	—	16,348,022
平成22年度	年間給水量 5,033,693 1日平均給水量 13,791	年間給水量 4,026,398 1日平均給水量 11,031	年間給水量 5,133,562 1日平均給水量 14,065	年間給水量 882,860 1日平均給水量 2,419	年間給水量 298,684 1日平均給水量 818	年間給水量 34,096 1日平均給水量 93	—	—	15,409,293
平成21年度	年間給水量 4,761,761 1日平均給水量 13,046	年間給水量 4,048,330 1日平均給水量 11,091	年間給水量 4,400,473 1日平均給水量 12,056	年間給水量 816,950 1日平均給水量 2,238	年間給水量 255,053 1日平均給水量 699	年間給水量 31,201 1日平均給水量 85	—	—	14,313,768
									39,215

### 3. 料金

(1) 工業用水道料金の推移(単位：円/㎥)

ア. 旧第1期工業用水道事業

(注) 金額は消費税等抜き。

年月日 種別	昭和40年4月1日			昭和43年4月1日			昭和45年4月1日			昭和47年9月1日			昭和49年4月1日			備考
	基本 料率	超過 料率	特定 料率	基本 料率	超過 料率	特定 料率	基本 料率	超過 料率	特定 料率	基本 料率	超過 料率	特定 料率	基本 料率	超過 料率	特定 料率	
1 種	4.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	4.50	5.00	5.00	4.50	5.00	5.00	4.50	5.00	5.00	三井東圧化学工業(株) 日本紙業(株) (現 日本製紙(株))
2 種	3.00	5.00	5.00	3.70	5.00	5.00	3.70	5.00	5.00	4.70	5.00	5.00	4.70	5.00	5.00	大竹紙業(株) (現 日本製紙(株)) 衛生センター (現 環境整備課)

年月日 種別	昭和50年10月1日			昭和62年9月1日			平成8年4月1日			備考
	基本 料率	超過 料率	特定 料率	基本 料率	超過 料率	特定 料率	基本 料率	超過 料率	特定 料率	
1 種	11.00	13.00	13.00	11.00	13.00	13.00	13.50	16.00	16.00	S61.4.1 三井東圧化学工業(株)撤退、戸田工業(株)、中国塗料(株)及び 明新産業(株) (現 大竹明新化学(株)) 給水開始 S61.6.1 ダイセル化学工業(株) (現 株ダイセル), 日本紙業(株) (現 日本製紙(株)) 給水開始
2 種	10.00	13.00	13.00	11.00	13.00	13.00				大竹紙業(株) (現 日本製紙(株)), 清掃センター (現 環境整備課)

イ. 旧第2期工業用水道事業

(注) 金額は消費税等抜き。

年月日 種別	平成16年4月1日			備考
	基本 料率	超過 料率	特定 料率	
	45.00	53.00	53.00	ダイセル化学工業(株) (現 株ダイセル) 日本大昭和板紙(株) (現 日本製紙(株)) (期間: 平成20年4月から平成25年3月)

## (2) 給水先別料金収入

(注) 金額は消費税等抜き。

給水先別	年度別		平成28年度		平成27年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	比率		
	円	%	円	%	円	%		
日本製紙(株) 大竹工場	59,926,084	12.8	60,034,781	12.8	△108,697	99.8		
日本製紙(株) 大竹北工場	51,379,138	11.0	53,177,105	11.3	△1,797,967	96.6		
ダイセル(株)	318,542,383	68.2	318,659,700	68.0	△117,317	100.0		
中国塗料(株) 大竹明新化学(株)	15,075,102	3.2	15,111,517	3.2	△36,415	99.8		
戸田工業(株)	16,981,395	3.7	17,010,118	3.6	△28,723	99.8		
環境整備課	4,927,500	1.1	4,941,000	1.1	△13,500	99.7		
合計	466,831,602	100.0	468,934,221	100.0	△2,102,619	99.6		

## 4. 工事

## (1) 保存工事の概況

(注) 金額は消費税等込み。

区分	工事内容	工事費			備考
		修繕費等	材料費	計	
		円	円	円	
原水及び送水設備	防鹿水源地受電DGR制御回路修繕外7件	5,556,600	0	5,556,600	
給配水設備	第1期工業用水道日本製紙(株)南工場内1号加圧ポンプ電動機修繕外4件	3,273,480	0	3,273,480	
合計		8,830,080	0	8,830,080	